

これからの図書館のあり方について

(答 申)

平成 2 1 年 3 月

北九州市立図書館協議会

はじめに

北九州市の図書館行政は、平成14年11月に当協議会から答申した「生涯学習拠点としての図書館のあり方について」を基本的な指針として位置付け、これを踏まえ推進されてきました。

しかし、前回の答申から6年が経過するなか、この答申に基づく施策や事業については概ね着手されているものの、図書館の利用状況は他の政令市に比べ低位にあります。一方、図書館を巡る環境をみても、少子・高齢化や情報化の急激な進展、図書館サービス等に対する市民ニーズの高度化・多様化、指定管理者制度の導入など大きく変化していますし、さらに、現在の地区図書館については建築後50年程度経過している施設もあり、施設の老朽化が進んでいること、並びに人口の集積、交通体系の状況及びまちづくり計画など社会の状況も変化してきています。

このため、今回、本協議会に対し、「これからの図書館のあり方」についての諮問があり、図書館サービスの拠点としての配置のあり方と図書館の機能・サービスのあり方について検討するよう求められました。

これを踏まえ、当協議会では、まず、慎重かつ詳細に検討するため「これからの図書館のあり方検討小委員会」を組織するとともに、市民アンケートを実施し図書館の利用状況や市民ニーズの把握に努め、さらに、他都市の公立図書館の視察を行うなど、延べ11回の検討を重ねてきました。

この結果、昨年9月には中間とりまとめとして「図書館の配置のあり方について」を示し、地区図書館のない八幡西、小倉南区における図書館整備の方向性を提案させていただきました。

さらに機能・サービスについても、図書館ネットワークの構築や市民の学びに役立つ図書館など5つの基本的な視点にたって、子どもの読書活動推進や学習活動支援のための調べ学習の充実、活字情報のみならず電子情報（インターネットやホームページ）の活用など、31の新たな提案を含め59の事業を提案させていただいたところです。

今後は、今回答申した「これからの図書館のあり方について」が図書館行政に生かされ、市民にとってより身近な図書館として、利用が進むことを大いに期待するところです。

北九州市立図書館協議会

【目次】

はじめに

第1章 総論

1 現状

- (1) 図書館網の現状 1
- (2) 図書館機能・サービスの現状 1

2 利用状況と市民ニーズ

- (1) 利用状況 3
- (2) 市民意識（アンケート） 4

第2章 図書館の配置のあり方

- 1 他都市の図書館配置状況 7
- 2 市民ニーズ 7
- 3 配置に対する評価 9
- 4 図書館配置のあり方
 - (1) 配置に対する基本的な考え方 10
 - (2) 既存図書館の配置 11
 - (3) 新たな図書館の整備等 11

第3章 図書館の機能・サービスのあり方

1 図書館を巡る動き

- (1) 国の動き 13
- (2) 他の自治体の新しい取り組み 14

2 市民ニーズ 15

3 機能・サービスに対する評価 17

4 これからの機能・サービスのあり方

- (1) 機能等に対する基本的な考え方 17
- (2) 具体的な施策 18

検討の経過 26

北九州市立図書館協議会委員 27